

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成31年 4月18日（木）

2 調査対象 第3学年生徒70名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

上記①と②を一体的に問う。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、おおむね全国平均と同程度でした。
数学は、全国平均を下回りました。
英語は、全国平均を下回りました。
英語(話すこと)は、おおむね全国平均と同程度でした。

(2) 生徒質問紙調査

成果が見られた項目

家で自分で計画を立てて勉強していますか

学校の部活動に参加していますか

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていると思いますか

1、2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか

課題が見られた項目

●難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

●毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

●自分には、よいところがあると思いますか

●今住んでいる地域の行事に参加していますか

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では特に知識を問う問題に課題が見られました。本校は福島県教育委員会「学びのスタンダード」推進事業の研究指定3年目になります。主体的・対話的で深い学びによる授業モデルの構築を目指し、全教職員で授業改善に取り組んでおります。普段の授業では「生徒が生き生きと学び、確かな学力を育むための指導の工夫」～主体的に学び合い、活用する力をのばす活動の工夫～を主題に授業研究・研修を行っています。また、南相馬市重点課題の「適用とまとめの時間の確保」と「計画的な家庭学習の習慣化」については徐々に成果は出てきているものの、以下の2点をさらに重点的に取り組み、知識を問う問題の向上を目指していきます。

(1) 学習内容の確実な振り返りの時間の確保と適用問題の実施

(2) 目的に応じた家庭学習になるような助言等の支援や内容等の確認

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

- ・授業の予習、復習など家庭学習時間の確保（平日・休日）

○生活リズムについて

- ・メディア（スマホ、ゲームを含む）との関わりについて、家庭でのルール作りとルール徹底
- ・就寝時刻と起床時刻の約束の徹底

○地域社会等への参画について

- ・あいさつ運動や奉仕作業を通しての、地域交流の活発化